

2024年1月11日(木)

多値論理とその応用研究会（沖縄県 那覇市 開催）参加メモ

群馬大学 小林春夫

「多値論理とその応用研究会」は群馬大学 弓仲康史先生、小山高専 飯島洋祐先生が大きな貢献をされてきており、これまで筆者の研究室学生も何度か発表させてもらった。今回 筆者は初めて参加し下記の発表を行った。科学研究費で行っている研究に関して近い分野のこの研究会の専門家の先生方の反応を得たいためである。「冗長性」と「アルゴリズム」のキーワードがこの研究会にあっていると思った。

小林春夫、加藤健太郎、魏江林

「冗長性を備えた AD 変換器のデジタル誤差補正アルゴリズムの共通構造」

[第 37 回多値論理とその応用研究会](#)、沖縄県 那覇市（2024年1月6日(土)、7日(日)） [Paper Presentation](#)



筆者の発表

また、群馬大学 修士2年 高木美咲さんも発表を行い、非常に好評を得ていた。



高木美咲さんの発表

以下、感じたことを箇条書きに記す。

- 研究会により雰囲気は異なることを感じた。
- この研究会では 70 代、80 代でも国際学会で発表されている方がおられる。
- 懇親会にて東京の大学の先生から現在の若い学生のマインドや就職に対する意識を聞いたのが参考になった。
- 筆者の発表はこの研究会のベクトルにあっているようで、関心を持ってもらえた印象である。
- 今 沖縄は「暖かい冬」である。T シャツで外を歩いている人もいる。
- 那覇にはネパール出身の方が多く印象である。
- 琉球大学のキャンパス内を散策したが非常に立派な大学であることがうかがい知れた。
- 首里城が現在改修されているが、その様子を公開しているのを見ることができたのは良かった。
- 沖縄県立芸術大学の展示会を見学できた。
懇親会で同大学出身の方(女性)が沖縄の話を変えながら三線を弾きながら歌ってくれたのも何かの縁かと思つた。
- 沖縄は食べ物や飲み物がおいしい。
- 沖縄の人は長寿であり、その理由の一つがストレスの少ない生き方をしているためとの話を聞く
- 沖縄の歴史や文化も調べる。琉球王国は近隣との貿易で栄えたようである。
学会や研究会は「知識・情報の取引の場」かと思う。
- 友人に勧められて沖縄戦のときの実話の映画を観る

[映画『島守の塔』公式サイト \(shimamori.com\)](http://shimamori.com)

太平洋戦争時に 沖縄県知事・島田勲、沖縄県警察部長・荒井退造は”Group Thinking” に陥らなかつたという解釈もできるかと思う。

下記は「次世代のスイッチング方式電源システム産学委員会」での講演に使用したスライドの抜粋である。

34 / 74

産官学連携： 集団浅慮 (Group Thinking)

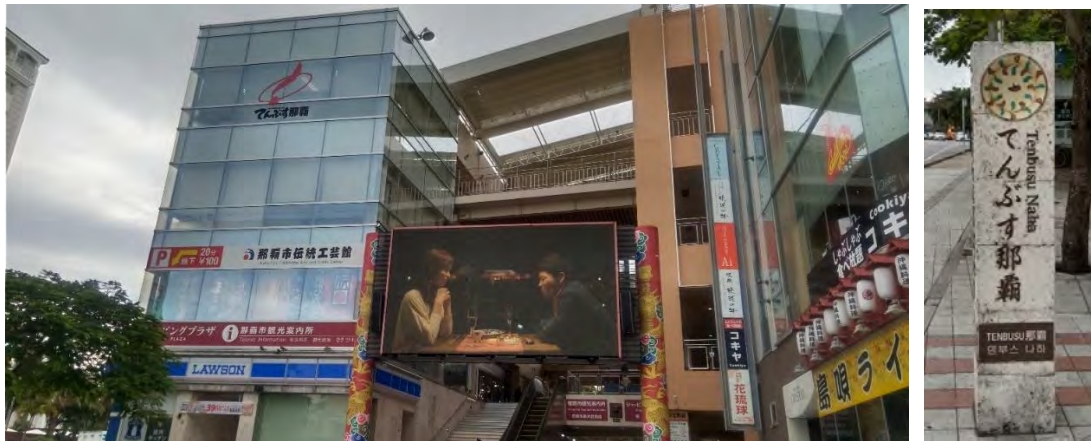
多くの産官学関係者が集まる
客観的に奇妙な議論・決定・実行 ➡ なぜだ？ 抜け出すしかない

集団浅慮：
集団での合意形成が不合理な結論を出す
心理学者のアーヴィング・ジャニスが提唱した概念
「三人寄れば文殊の知恵」の逆の効果

戸部良一 他 「失敗の本質—日本軍の組織論的研究」中公文庫 1991年

謝辞： 今回の「多値論理とその応用研究会」主催の先生方に感謝申し上げます。

研究会会場



那覇市繁華街の国際通り





シーサーは「魔除け」「福を招く」ため(宗教施設ではない)一般の家にも置かれる。

首里石鹸



沖縄県立芸術大学



首里城



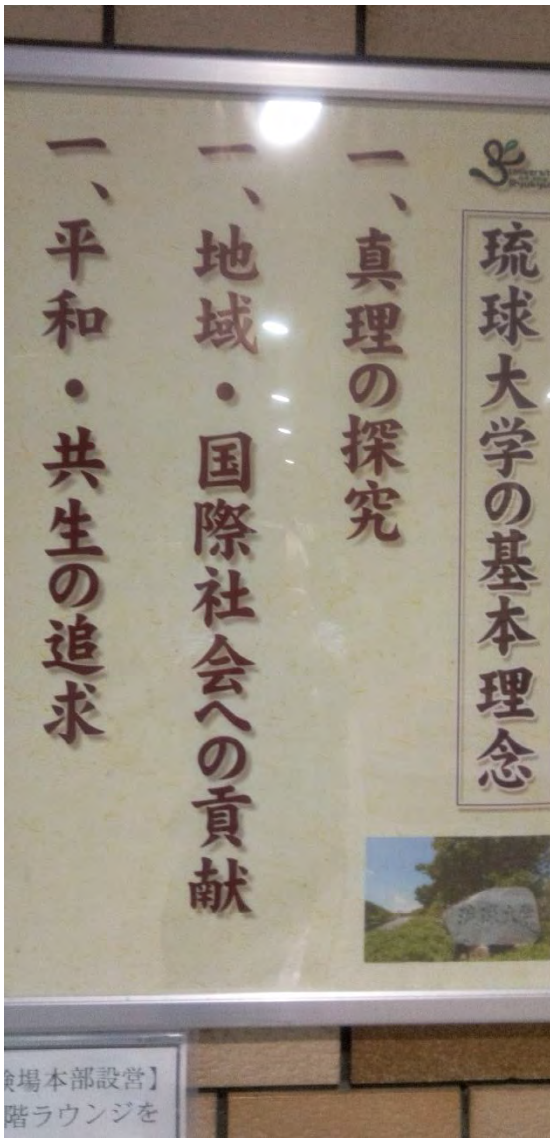






琉球大学







那霸港近辺

